



若葉小学校6年
上飯坂 鮎美 さん

広島から学んだ平和の尊さ

私は八月五、六日と非核平和学習会に参加しました。現在戦争をしているというニュースを見て、自分には何ができるのか考えたく、この学習会に参加したいと思いました。

広島は平和記念公園や資料館では、原爆による被害の大きさに怖さを感じました。見学の中で私は黒い雨の跡が印象に残りました。黒い雨は放射線物質が含まれていましたが、傷ついた人たちは、咽の乾きを潤すためにその雨粒を飲んだそうです。原爆は絶対に二度と使ってはならないと改めて思いました。

広島に行つて、今こうして平和な日本で暮らしていることがどれだけ幸せなことなのか気付くことができました。この八十年間日本は戦争をしませんでした。それは、戦争の悲惨さを身にしみているからだと思います。私も平和の尊さを伝えていける人になりたいです。



石鳥谷小学校6年
三又 ぼたん さん

広島に行き思ったこと、感じたこと

8月5日、6日に非核平和学習で広島に行ってきました。そこで私が学んだことは二つあります。

一つ目は、核兵器のおそろしさです。

二つ目は、核兵器を使つてはいけないということ。いくつもの町が消され、大切にしてきた物、町に住んでいた人の思い出までも、すべて消されてしまうからです。

日本には「戦争をしない」という憲法があります。この憲法が世界に広がり、戦争がない平和な世界になつてほしいと思いました。

今後、私にできる事は、とても少ないとは思いますが、広島に行つて見たことや学んだことをこれからも忘れないようにしていきたいと思いました。そして、たくさんの人に学んだことを伝えていきたいと思いました。

世界の人が戦争をやつてはいけないと思える世界にしてほしいです。



八幡小学校6年
晴山 海夢 さん

非核平和学習会で学んだこと

私が非核平和学習会に参加した理由は、戦争を経験したことがないからこそ原爆の怖さを知り、平和について考えたいと思ったからです。

私たちは実際に原爆ドームを見てきました。いざ目の前にしてみるとテレビでは感じられない怖さが伝わってきました。

記念資料館には同じ年齢の子たちが背中をやけどしたり、髪が抜けている写真がありました。原爆が落とされると怖いことになるんだと思いました。まだ長く生きたかったと思います。

平和記念式典にも参列しました。平和への誓いでは「あの悲劇を風化させず、記録として被爆者の声を次の世代へ語り継いでいく使命が私たちにあります。」と言っていました。辛い思いをした人が思い出して伝えてくれたこと、直接会つて感謝したいです。

もう二度と戦争がおこらずに今の平和がずっと続いてほしいと思います。



南城小学校5年
菅原 瑛太 さん

非核平和学習会に参加して

ぼくは昔戦争があったということしか知らなかったのですが、詳しく知るいい機会と思い参加しました。印象に残ったことは三つあります。

一つ目は原爆ドームです。立派な建物が「たった一発の爆弾であんなにボロボロになつてしまうなんて」と核兵器の恐ろしさを実感しました。

二つ目は人影の石です。座っていた人が熱線を浴びて即死し、影だけが残つたというものです。心が痛くなり声が出ませんでした。

三つ目は燃料会館で起きた話です。野村英三さんが地下室に戻つた際、爆弾が投下され奇跡的に生きのびることが出来たそうです。英三さんの立場になったとき「自分だけ生き残ってしまったこと」など、悔やまれることが多かったのかもしれないと思いました。

宮沢賢治さんの「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」という言葉のように、他の人をお願いする気持ちを持てば、争いのない世界になると信じています。



湯本小学校5年
及川 絢佳 さん

広島で学んだこと

わたしが広島に行き学んだことと、印象に残ったことが四つあります。一つ目は、原爆ドームです。二度と繰り返してはならない歴史を感じさせる建物でした。

二つ目は、原爆資料館です。展示されている物は陰惨なものばかりでどれも当時の惨状に衝撃を受けました。

三つ目は、平和記念公園です。慰霊碑には「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませぬから」とかいてあり、これは、原爆をあまり知らない人々に向けてのメッセージになつていると思います。

四つ目は、平和の灯です。核兵器廃絶の象徴で核兵器が地球上から消滅するまで燃やし続けられます。

わたし達は核兵器が使われることを絶対に阻止しなければいけません。同じ過ちを繰り返さない為にこれからも歴史を勉強していきたいです。



大迫小学校5年
松坂 優凜 さん

平和学習会に参加して思ったこと

8月5日、6日に平和学習会で私が思つた事を伝えたいと思います。まず、かく兵器のこわさです。いつしゅんで全てを無くしてしまうおそろしいものです。

かく兵器を使つてはいけないと思う理由は二つあります。一つ目は、大ぜいの人たちがなくなつてしまうからです。

二つ目は、人だけではなく、多くの町がなくなつてしまうからです。人や町だけではなく、もの、町に住んでいた人の思い出でなくなつてしまします。

国同士の争いなのに関係のない人達がこころされてしまい、とてもいやな気持ちになりました。

人どうしの小さなめ事から国をまきこむなんていやな事だから戦争をやめて、みんなが楽しく、平和がいいなと思いました。

もっとたくさんの人や友達に戦争をやつてはいけないという理由、かく兵器のおそろしさを知ってもらいたいです。



東和小学校5年
小原 葉永 さん

非核平和学習会に行つて感じたこと

ぼくは、初めて広島県に行きました。最初はきんちようしてしまいましたが新幹線で仲良くなれました。

一日目は、原爆ドームと広島平和記念資料館を見学しました。原爆ドームは爆風はしのげられましたがねっせんにはたえきれず上の方がとけて骨組になつていました。原爆ドームは今にもくずれそうだったので支柱が立っていました。

今でも原爆を経験して病気にかかり、苦しんでいる人々がいます。そんな人々のために広島市では二百五十万羽の折りづるが折られました。

かくへいきは世界で約一万ばつあります。アメリカ、ロシア、インド、イスラエル、イギリス、フランス、北ちようせん、中国、パキスタンがしよじています。

ぼくは、かくへいきを作る意味、作つて何の得があるのか不思議に思っています。かくへいきのない世界になるように心から願います。



非核平和都市宣言
(平成18年3月13日議決)

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

しかし、今なお、世界各地では悲惨な戦争があつたとをたえず、また、核兵器の存在が人類の生存と平和に大きな脅威をもたらしています。

私たちは、世界で唯一の核被爆国民として、地球上で二度と核兵器による惨禍を繰り返さないため、その悲惨さを全世界へ訴えていく重要な役割を担っています。

花巻市民は、日本国憲法の基本原理であり、人類共通の願いである恒久平和に向けて、非核三原則を遵守し、全ての核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、ここに「非核平和都市」を宣言します。